



# 拓殖大学 2012

## 第88回箱根駅伝ガイドブック

# 箱根

## 校歌

作詞 宮原民平  
作曲 永井建子

一、右手に文化の炬をかかげ  
扶桑の岸に声あげて  
闇は消えよと呼ぶは誰ぞ  
人は醒めよと呼ぶは誰ぞ  
嗚呼輝ける雄渾の  
姿ぞ我の精神なる

二、雲は焰の色に飛ぶ  
南国水はたぎるとも  
春光永久にへだてたる  
北地に氷とぎすとも  
仰いで星を見るところ  
拓かでやまじ我が行手

三、人種の色と地の境  
我が立つ前に差別なし  
膏雨ひとしく湿さば  
礎確やがて花咲かむ  
使命は崇し青年の  
力あふるる海の外

### 90周年を迎えた陸上競技部と箱根駅伝 「自信を力に」

我が校の陸上競技部は1921年(大正10年)当時、第3代学長であった後藤新平先生による文武両道、質実剛健の気風を全学生に範を示す目的で創部され、以来90年の歴史を誇り、数多くのアスリートを輩出して参りました。

特に「東京箱根間往復大学駅伝競走」(箱根駅伝)には、1933年(昭和8年1月)開催の第14回大会より出場し、大会成績11位で完走したのが始まりで、以来拓殖大学として31回、紅陵大学として2回、合計33回の出場歴を誇っており、成績は第87回大会の7位が最上位で、8位が2回(第74回大会・第55回大会)、9位が3回(第19回大会～第21回大会)が主な成績となっております。

更に出雲全日本大学選抜駅伝大会には本年2回目の出場となった第23回大会では5位入賞、第10回大会6位入賞といずれも入賞しました。又、全日本大学駅伝対校選手権大会には第29回大会より7度出場し、初出場で5位入賞、第30回大会では3位と堂々の成績を取め、第31回大会8位となる等、母校の健闘が光る大会成績でもありました。以上3大駅伝の歴史を述べました。

#### 活躍する本学出身のアスリート達



小林 史和 (コバヤシ シノブ)

商学部経営学科2000年卒業、岐阜県出身(中京高校)  
陸上競技1500m日本記録保持者。大学時代は箱根駅伝に4年連続出場を果し、2000年4月NTN(株)に入社、陸上競技部で大活躍。中距離ランナーとして幾多の記録を積み重ねた。特に2004年7月に樹立した男子1500mの記録は日本記録として史上に燦然と輝く。2011年12月に選手を引退し、現在はNTN(株)陸上競技部で指導者の道を歩んでいる。



中本 健太郎 (ナカモト ケンタロウ)

商学部経営学科2005年卒業、山口県出身(県立西市高校)  
本学在学中、箱根駅伝は第81回大会で復路7区を走った。卒業後は(株)安川電機に入社しマラソン転向、マラソン初挑戦となった2008年の延岡西日本マラソンでいきなり3位入賞、同年の北海道マラソンでは2位を獲得した。2011年3月世界選手権大会の代表選考を兼ねて開催されたびわ湖毎日マラソンでは自己最高の2時間09分31秒の好記録を達成。日本代表として出場した9月開催の韓国テグ世界陸上競技選手権大会では男子マラソン10位(日本人2位)と健闘した。



藤原 新 (フジワラ アラタ)

商学部経営学科2004年卒業、長崎県出身(県立諫早高校)  
本学在学中、箱根駅伝には第77回と第79回の2回出場。卒業後はJR東日本に入社、実業団チームとして各種大会で活躍。2008年2月の東京マラソンに一般参加で出場し、並み居る有力選手と共に終始先頭集団に食らい着いて懸命に激走、優勝したビクトルロスリン(スイス)に次ぐ第2位、日本人選手トップでゴールイン、2時間8分41秒の自己ベスト記録をマークした。7度目のマラソンとなった2010年5月のカナダオタワマラソンで自身念願のフルマラソン初優勝を飾った。



夏期強化合宿

【写真提供】陸上競技社・NTN(株)

拓大旗の下、オール拓大で“箱根駅伝”を応援しよう。

陸上競技部支援会



拓殖大学 広報課  
〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14 TEL.03-3947-7160  
<http://www.takushoku-u.ac.jp/index.html>

本誌は拓殖大学広報部が企画制作し、学友・在学生・教職員に配布するものです。

11.DEC.10000:T&B



# 駆けろ拓大!

## 自信を力に!